

議長定例記者会見／令和7年3月24日（月）

○丸井議長

それでは、まず初めに、第321回定例会の採決結果について御報告いたします。
知事提出議案97件のうち、議案85件を可決・同意・承認し、報告のみが12件でした。
議員発議案については、提出された7件のうち5件を可決し、2件が否決されました。
請願・陳情については、受理された4件は不採択となりました。
議員派遣については、国内派遣1件、海外派遣1件が可決されました。
私からは以上です。

○記者

宮下県政となって2度目となる当初予算編成について、議長の印象をお聞かせください。

○丸井議長

令和7年度の当初予算案は、GX青森の推進による新たな産業の創出、未来への投資としてのこども・子育て「青森モデル」や学校教育改革の推進、オンライン診療の普及・拡大など、随所に、宮下知事の目指す方向性が反映されているものと考えています。

予算を全体的に見れば、約7,100億円であり、伸び率が1%程度です。今は人件費などが上がっていることを加味すると、知事は大変に苦勞をして予算編成をしたのだらうと思います。

○記者

新年度の事業の柱として、人口減少対策と言いましょか、若者の県内定着について、議長はどのような取組を期待しているのかお聞かせください。

○丸井議長

喫緊の課題というのは良く分かります。しかしながら、急速に改善できるかと言えば難しい問題です。地道に予算をつけながら考えていく必要があると思います。先ほど申し上げたとおり、知事も予算の関係では本当に苦勞されていると思います。こちらに予算を付けると、他の予算が削られるといったこともあり、あんばいも難しいと思います。議会として、もっともっとその辺を考えながら質問し、新しい道筋を見つけていく必要があると思います。

○記者

若者の定着は喫緊の課題と思いますが、どのようにお考えになられているのかお聞かせください。

○丸井議長

喫緊の課題ではありますが、どう解決するのかと言えば、給与の問題、働く場の問題もあるでしょう。今の青森県の中小企業を見た時に、それではすぐに給与を上げることができるのかと言えば、非常に難

しい部分もあります。私は、地方と中央の格差は広がりつつあるという気がします。これらの解消といったことは考えていく必要があると思います。

○記者

次期県議選の選挙区割の検討について、会派間の議論の現状、早ければ秋には新しい区割が示されると思いますが、どのような議論を期待しているのかお聞かせください。

○丸井議長

今、私が聞いている段階においては、会派内の取りまとめ、会派内の認識の共有を図っている最中であると思います。やはり、議員個々の、議員生命に関わる問題等であるものですから、議論を深めるということが必要だと思います。決められた期間もありますが、その中で、もっともっと議論を深めていただいて、なるべく多くの皆様の御同意を得られるように進めていただきたいと思います。

以上、ありがとうございました。